

私の大切な場所

埼玉県戸田市 宇根鏡子（80歳）

戸田市に転居して約2年。旧知の仲間たちに別れを告げ、新天地での再スタートに向けてコミュニケーション情報を得るのに苦労していたが、幸いにもこれまで親しんできたグラウンドゴルフを、地元の同好会で続けられることになった。さらに、そのメンバーの1人が「シルバー人材センターに入会すると、いろいろなサークル活動に参加できて楽しいよ」と教えてくれた。

早速、センターの説明会に行き、会員が仕事に、ボランティア活動に、サークル活動に、熱心に取り組んでいることを知る。すぐに入会手続きを済ませた。

まずはマージャンサークルに加入。それから就業、地域の小学校の見守りや清掃などのボランティア活動、カルチャー講座等に申し込み、私のカレンダーは充実したスケジュールでたちまち埋め尽くされた。

ボランティア活動では、20分前には現地に集合して仲間と雑談に興じる。同年代ならで

はの健康面での不安、日々の食事のあれこれなど話は尽きない。地元の人から頼れる医者や良いスーパールの情報が得られるのは、引越した後の生活にまだ十分に慣れていない私にとって心強い限りだ。

センターに入会し新たな出会いに恵まれ、地域のボランティア活動に参加して、今まで経験したことがない仕事にチャレンジする毎日を大切に過ごしている。生き生きと自分らしく取り組める大切な場所と時間を得られたことに感謝したい。

小さな挑戦が 広げた世界

神奈川県伊勢原市 三浦明彦（74歳）

シルバー人材センターの仕事といえば、清掃や除草など、昔ながらの地域貢献の風景が思い浮かぶ。私自身も会員が地道に取り組む姿を長く見てきた。

しかし近頃、センターの仕事の中に、静かだが確かな変化の気配を感じるようになった。デジタルの風が、ゆっくりと吹き始めているのである。

一昨年の11月、伊勢原市SCでは会員のパ

ソコン経験を生かすために、PC・SAT（パソコン支援活動隊）を立ち上げた。15人の仲間が集まり、毎月の研修でスキルの習得を重ねている。新しい機能に戸惑いながらも、画面に向かう表情はどこか明るく、年齢を重ねても果敢に学ぼうとする姿勢に胸が熱くなる。その学びは地域に貢献する仕事の中で少しずつ生かされつつある。スマホ・パソコン教室の講師や自治会資料の作成支援、福祉施設でのPC業務対応など、デジタル分野での就業が増えてきた。「助かったよ」と声を掛けられたたび、仲間の背中がそっと押されていく。

今年はさらに、思いがけない依頼が舞い込んだ。長野県の企業が伊勢原市に営業所を開設するに当たり、受発注データ処理やシステム改善といった専門的な業務を当センターに任せたいという相談である。内容は高度で、最初は対応しきれるか、不安の方が大きかった。しかしPC・SATのエース2人が先方の担当者と面談を重ねた結果、今年7月からの派遣契約による就労が決まった。地元自治会によるスマホ・パソコン教室への講師派遣も同月からスタートし、センター主催の教室と並行して、デジタル分野での地域支援の体制が整いつつある。

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

老いてなお励まし合えるシルバーの
仲間と炎暑仕事に勤しむ

●印西市 山田 明

米寿なり鏡を覗きハットする

父母の面影仲良く貰い

●狛江市 根方一吉

月の出か星空なのか旧暦の

暦開くも疎きこの頃

●東京都神津島村 石田希代子

どこからか錆びた音する鉄風鈴

廃駅軒に吊られし今も

●平塚市 田中博由

人の世に人と生まれて人と生き

今を先途の齡重ねん

●笛吹市 沢登清一郎

日も落ちて木立の影も尾を引きて

遠く聞こゆる夕焼の歌

●諏訪市 太田章穂

すててここでごろりと昼寝高軒

父母姿夢うつつかぬ

●福知山市 峠尾 充

筍皮おにぎり並べ紅生姜

右左で包み結ぶ筍紐

●綾部市 岩瀧憲一

カタカタと音立て昭和の扇風機

頑張ろうねと声掛けてをり

●明石市 小田和子

朱夏の道歩み人材センターへ

向かふ老いたる我が影を連れ

●明石市 小田慶喜

滞り話題を武器に話す我

冷汗が出る例を忘らる

●南あわじ市 小川千富

腰痛め畑に詫びるも畑が言う

「ちゃんと治して出て来ておくれ」と

●香芝市 高田尚昭

俳 句

農道の小さな春は風に耐え

●仙台市 菱沼俊行

桃の木の吐く霊香たつ隠れ里

●神栖市 安澤宏介

青田風牛蛙鳴く夕昏に

●本庄市 入 利雄

梅雨どきは誰とも疎遠がちとなり

●本庄市 長谷川千鶴子

梅雨晴や外に飛び出す園児たち

●草加市 長谷部慎子

梅雨湿りスマホで手相今日の運

●戸田市 稲田隆博

庭園を梅雨が彩るブルー色

●武蔵村山市 原野晴光

春天に行く先自由シャボン玉

●塩尻市 大家協治